



## 赤心(せきしん)

～ 豊かな感性 確かな知性 あふれる意欲 ～

2026.3.12



## 第2回赤堀中学校をよりよくするためのアンケート結果

第2回赤堀中学校をよりよくするためのアンケート（学校評価）にご協力いただき、心より感謝申し上げます。皆様からの回答を分析し、現状の報告と今後の課題についてお知らせいたします。

## 保護者・生徒とも高い評価だった項目

「A:そう思う」と

「B:ややそう思う」の割合

項目		保護者	生徒
連携	① 通知や通信等は、学校の取組や生徒の様子について、わかりやすく伝えていらっしゃいますか。	96% ↑	92% ↓
確かな学力	② 教師は、お子さんの学力を適切に評価してくれていると思いますか。	88% ↑	92% ↓
豊かな心	③ お子さんは、時や場・相手に応じた適切な言葉遣いができていると思いますか。	91% ↑	92% ↓
	④ お子さんは、友達に「思いやり」をもって学校生活を送っていると思いますか。	96% ↑	94% ↑
	⑤ お子さんは、学校のきまりや約束（生活のきまり）を守って生活できていると思いますか。	92% ↓	94% →
健康・体力	⑥ ご家庭では、お子さんは毎日朝食を食べていますか。	96% →	95% ↓
安全確保・ 施設整備	⑦ 学校は施設・設備の安全に配慮していると思いますか。	98% ↓	98% →
	⑧ 学校は、交通安全の指導を適切に行っていると思いますか。	90% →	95% →
進路・生き方	⑨ お子さんの進路について、今学期に1回以上親子で話し合いましたか。	88% ↑	87% ↑
	⑩ 学校からの進路情報や進路指導は適切だと思いますか。	83% ↑	94% ↑

保護者と生徒の皆さんから高い評価を得た上記の①～⑧については、第1回目の調査でも高い評価でした。⑨・⑩については、第2回目で高い評価を得た項目になります。割合の右側の矢印は第1回目との比較を表しています。「↑」は数値アップ、「↓」数値ダウン、「→」同じ数値になります。

## 【思いやりが育つ、安心できる学校生活】(No.④・⑦)

「友達に思いやりをもって生活している」の項目では、1回目よりも向上し保護者・生徒ともに90%以上で高い評価となり、子どもたちが安心して過ごせる環境が育っていることが分かります。また、「施設・設備の安全に配慮している」の項目では、保護者・生徒ともに98%と高い評価となっており、学校環境の安全性が確保されていることが示されています。

## 【進路指導の充実】(No.⑨・⑩)

進路情報や指導について、生徒94%・保護者83%と高い評価となり、親子で進路について話し合う機会も増えており、家庭との連携が深まっていることが分かります。

## 保護者・生徒とも低い評価だった項目

「A:そう思う」と  
「B:ややそう思う」の割合

項 目		保護者	生徒
確かな学力	① お子さんは、授業が「わかりやすい」または「楽しく、ためになる」と言っていますか。	54% ↓	88% →
	② お子さんは、教科書や授業の内容が理解できていると思いますか。	58% ↓	83% →
	③ お子さんは、1日の学習時間を設定し、計画的に学習していますか。（宿題、予習や復習、読書、塾等を含む）	48% ↑	60% ↑
豊かな心	④ お子さんは、家庭で「お手伝い」をしていますか。	69% ↑	74% ↑
健康・体力	⑤ お子さんは、日常生活の中で運動に親しんでいると思いますか。	69% ↓	70% ↓

保護者と生徒の皆さんからの低い評価と学校における子どもたちの様子を基に、以下のような今後の課題が推察されます。

### 【学習について】

#### ① 授業のわかりやすさ・充実感

生徒の満足度は88%と高く維持されている一方、保護者の評価は54%と低下しています。授業の成果が家庭から見えにくいことが要因と考えられ、授業の様子や学習到達をより具体的に共有し、家庭との連携を強める必要があります。

#### ② 教科書・授業内容の理解度

生徒の理解度は83%と安定しているものの、保護者の評価は58%に下がり、家庭では定着に不安がある様子です。振り返りや確認テスト、成果の可視化を進め、学習内容の定着を確かなものにする取り組みが求められます。

#### ③ 計画的な家庭学習の取組

生徒60%、保護者48%と前回より向上し、計画的に学習しようとする意識が高まっています。しかし十分とは言えず、学習習慣の定着には継続的な支援が必要です。目標設定や振り返りの方法を具体的に指導し、達成感を得られる仕組みづくりを進めます。

### 【生活について】

#### ④ 家庭でのお手伝い

生徒74%、保護者69%とともに上昇し、家庭での役割分担が定着しつつあります。お手伝いは責任感や自己有用感を育む重要な機会であり、学校生活にも良い影響が期待されます。無理なく継続できるよう家庭と連携して支援していきます。

#### ⑤ 運動に親しむ習慣

生徒70%、保護者69%とともに低下し、日常的な運動量の減少が懸念されます。学校での運動機会を確保するとともに、家庭でも短時間でできる運動や外遊びを習慣化することが重要です。健康維持のため、学校と家庭が協力して環境づくりを進める必要があります。

## 保護者の意見より

保護者の皆さまからいただいたご意見には、学校への期待や温かい励ましが多く寄せられており、教職員一同、大きな励みとなっております。同時に、改善すべき点についても真摯に受け止め、学校としての課題を整理し、よりよい教育活動につなげていくための取り組みを進めてまいります。いただいた声を学校運営に生かすべく、以下にご意見と、それに基づく学校としての改善の方向性をまとめました。

意見のまとめ		改善の方向性
指導の 在り方	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 生徒への指導が頭ごなし・威圧的に感じられる場面があるとの声が寄せられ、生徒の気持ちや理由を丁寧に聞いたうえでの対応を求める意見がありました。</li> <li>◆ 思春期の生徒にとって教員の言葉や態度の影響は大きく、安心して学校生活を送れる環境づくりを望む声がありました。</li> <li>◆ 校則については、生徒の実態や社会の変化に合った見直しを求める意見がありました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 生徒一人一人の話を丁寧に聞き、背景や理由を踏まえた指導を行う姿勢を全教職員で共有し、指導の在り方を見直していきます。</li> <li>◇ 感情的な対応を防ぐため、対話的指導に関する研修などを充実させ、教職員の指導力向上を図ります。</li> <li>◇ 生徒アンケートなどを通して生徒の声を継続的に把握し、必要に応じて校則の見直しも含めた改善につなげていきます。</li> </ul>
安心な 学校 づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 生徒が気軽に先生へ相談や質問ができる雰囲気づくりを大切にしてほしいとの意見がありました。</li> <li>◆ クラスの雰囲気や人間関係に不安を感じ、安心して学校生活を送れない状況や、不登校、いじめへの丁寧な対応を望む意見がありました。</li> <li>◆ 個々の違いや特性に関わる言葉が軽率に使われることがないよう、互いを尊重する意識を育ててほしいという意見がありました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 生徒が小さなことでも相談しやすいよう、教員が日常的な関わりを大切にし、信頼関係の構築を進めていきます。</li> <li>◇ 学級や学年での情報共有を強化し、いじめ防止や早期発見・早期対応を徹底するとともに、教育相談体制を充実させていきます。</li> <li>◇ 多様な個性や特性について学ぶ機会を設け、互いを尊重し合う学校風土づくりや人権意識の育成を推進していきます。</li> </ul>
部活動 の適正 化	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 部活動の活動量について「少なすぎる」「やりすぎである」など幅広い声が寄せられ、活動時間や休養日の在り方に対する不安や疑問の意見がありました。</li> <li>◆ 地域移行の過渡期にある中で、学校としての部活動の方針や決まりを分かりやすく示してほしいという声がありました。</li> <li>◆ 顧問や生徒同士の考え方の違いにも配慮しながら、仲間と協力し、充実した活動となることを望む声がありました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 生徒の発達段階や安全面を踏まえ、活動量の「不足」と「過多」の両方に配慮した部活動の運営を行い、怪我の防止やコンディションの調整にも取り組んでいきます。</li> <li>◇ 部活動ガイドラインに基づき、活動時間や休養日などの基準を学校全体で共有し、部活動間の差を縮小しながら適正な活動量を確保してまいります。</li> <li>◇ 生徒と顧問、生徒同士の間で活動目標や考え方を共有し、互いに尊重し合える環境づくりを進めていきます。</li> </ul>

## 保護者の意見より

意見のまとめ		改善の方向性
授業の 質的 向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 学級の雰囲気や生徒同士の関わりの中で、真剣に取り組んでいる生徒が安心して学習できる環境づくりを望む声がありました。</li> <li>◆ 授業の進め方や説明の分かりやすさについても、より理解しやすく意欲が高まる授業を期待する意見がありました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 授業中の学習規律や学級の雰囲気づくりを大切にし、安心して学べる環境を整えていきます。</li> <li>◇ 授業改善に向けて、教員同士の授業参観や授業研究を計画的に進め、指導方法の向上に努めていきます。</li> </ul>
自転車 マナー の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 登下校時の自転車マナーが守られておらず、後方確認をしない斜め横断や横に広がって走行するなど、危険な行動が見られるとの声が寄せられました。</li> <li>◆ 特に学校周辺の横断歩道付近では、生徒の斜め横断により車が動けなくなる状況があり、放課後の見守りを求める意見がありました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 生徒自身が安全を守る意識を高められるよう、安全委員会と連携した啓発活動（ポスター・呼びかけなど）を進めていきます。</li> <li>◇ 下校時に行っている交通安全指導の効果を検証し、危険箇所については重点的に見守りや指導を行うなど、指導体制を見直していきます。</li> </ul>

## 生徒の意見より

生徒の皆さんから寄せられた声には、学校生活をもっとよくしたいという思いや、日ごろ感じることが素直に表れていました。その一つひとつを大切に受け止め、より過ごしやすい学校づくりにつなげていきます。ここでは、生徒の皆さんの主な意見と、それを踏まえた学校の改善の方向をまとめました。

意見のまとめ		改善の方向性
校則の 在り方	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 服装や防寒対策に関する規定の緩和、髪型や頭髪基準の見直し、生徒が納得して守れる校則づくり、さらに校則全体の柔軟な見直しや検討など、校則をより現実的で納得感のあるものにしてほしいという意見がありました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 校則の目的や理由を丁寧に説明し、生徒会などを中心に生徒自身が自ら考え、自主的に意見を出し合い、校則づくりに主体的に関われる仕組みを整え、学校生活にふさわしい校則へと改善できるようにしていきます。</li> </ul>
交通 安全 対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 登下校時に自転車で会話しながら走行する生徒を見かけるため、安全面の観点から適切な対応や指導を求める意見がありました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 自転車の並走運転など、危険な行為について具体例を示して継続的に指導し、安全委員会を中心に啓発活動を進めて生徒自身が安全を守る意識を高めていきます。</li> </ul>
指導の 在り方	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 教職員の言葉かけや生徒への接し方について配慮を求める意見や、授業や学校生活の中で生徒一人一人の気持ちを大切にしたい指導と、安心して過ごせる環境づくりを望む声がありました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 生徒の尊厳を守ることを教職員間で徹底し、不適切な言動に対して生徒の声を受け止める仕組みと迅速に改善できる体制を整え、安心して学校生活を送れる環境づくりに努めていきます。</li> </ul>